

**VANのジョーシキを無視した
空前絶後のオオPOINT!!**



圧倒的な眼ヂカラで魅せる超攻撃的なフロントセクション!!

ボディセンターを一段落とし込むようにポリウムコントロールし、実サイズ以上のワイド感を引き出すフロントセクション。奥行き感アピールも考慮した圧巻の開閉部を持つバンパーと、走行風を積極利用するフロントディフューザーの2ピースでレーシーさを引き出しつつ、コーナーパネルまでシンクロさせたレーシングボンネットでの超パッドフェイスによって、“200系史上最凶”の眼ヂカラを演出した。

**KUHL REGAL
200V-GT**



**毎年旋風を巻き起こすKUHLが
200系ハイエース界にフルスロットルで参戦!!**

コストよりも造形美を重視したマルチピース構造で仕立てる本格ボディキット、そしてエアロをまとったスタイルから徹底ブラッシュアップしていくデモカーカスタムで、ワールドワイドに注目を集めているクールレーシングだ。

これまでは35GT・Rや86といったスポーツカーを中心に、アルヴェルやプリウスなどの人気モデルも手がけていたが、ついに！熱望されていた200系ハイエース戦線に本格進出!!

もちろん、ラインナップ初の箱車といっても、ご覧のようにアグレッシブ＆レーシーなクールテイスト全開のスタイルで仕上がりレベルはバツグン。それもそのはず、クール率いる片岡代表は趣味のカーを楽しむべくプライベートで200系を所有しており、ずっと「イジりたいな」と思っていた1台だからだ。というワケで、こだわり尽くしのエアロデザインをチェックしてごらん。

まずはトータルイメージを左右するフロントセクションだが、大胆な開口部のフロントバンパーとボトムを前方へ押し出すフロントディフューザーをコンビネーション。そこにアウトローなテイストとして、コーナーパネルまでもシンクロさせたレーシングボンネットを加え、超攻撃的なフェイスに仕上げている。

なお、サイドセクションは乗降性にも配慮したシンブル形状のステップ&ディフューザーで、フロントからのスピード感をキープ。その勢いを薄いバンパートップ&ディフューザーで躍動感を高めたりアセクションで受け止め、全方位にレーシーさをアピールするアグレッシブスタイルへ導いた。

驚くことにクルールの200系プロジェクトはまだまだ序章。詳細は次のページで触れるが、この旋風、見逃せない!

**空前絶後のオオ!
超絶怒涛の商用車ツッパ!!
VANS!
VANZ!! VANS!!!**

ハイエースを知り尽くしたスタッフ渾身のヘッドライト技



アウトロー全開フェイスをアシストするのが、クールグループに加わったキッズレーシングのヘッドライトカスタム。H型純正ヘッドライトをカラ割りして、S660用角目LED移植やブラッシュアップに加わったビルダーのロゴ抜きアクリルなどをセット!!

**KUHLオリジナルホイールの
デビュー作を5穴化で
ハイエースにセット!!**



デモカーの足元は、オーダーインセットでのコンケイブラフメッシュとしてクルールがデビューさせたばかりの「ワエルスデザイン・KCV01」を、変換スペーサーを用いてマッチング。近日中には200系サイズの6Hホイールもお披露目予定だ(97ページへ!)

CONSTRUCTORS SHOP
KUHL RACING 名古屋(愛知県名古屋市)
☎052-693-9805 www.kuhl-japan.com

ボディキットやホイールといったアイテムプロデュースだけでなく、コンプリートカー販売から各種カスタムまで手がけるクールレーシング。200系カスタムを得意とするキッズレーシング、世界的なカスタムペインター井澤氏率いるローハンをグループに迎え入れ、盤石の体制を築き上げている。

VANS 02 TYPE 200 HIACE

COVER CAR SPECIAL